

派遣

< 派遣日程・派遣先・派遣校 >（派遣者数：267名）

【1 ダイバーシティコース】

異文化を理解し多文化共生社会の実現に向けた意識を醸成

● 8月25日～8月31日：インドネシア

上野、日本橋、東、田園調布、山崎、上水（計24人）

● 9月22日～9月28日：マレーシア

農産、芦花、新宿、調布北、八王子北、小平（計24人）

● 1月7日～1月14日：ヨルダン

新宿山吹、八潮、富士、小山台、大島、福生（計24人）

● 11月2日～11月9日：トルコ（新規）

三宅、石神井、東大和南（計12人）

● 12月13日～12月20日：エジプト

青井、杉並、世田谷総合、国際、鷺宮、国立（計24人）

【2 オリパラシティコース】

芸術・文化教育の分野における交流を通して、生徒の豊かな国際感覚を醸成

● 11月12日～11月16日：フランス・パリ

両国、成瀬、若葉総合、第五商業、田無、清瀬、

文京盲、葛飾ろう、中央ろう、立川学園、水元小合学園、

永福学園、志村学園、南大沢学園、青峰学園（計40人）

【3 グローバル「イノベーション」コース】

世界水準の先端技術や芸術に関する施設や講義を直接見学、聴講し、「探究する力、思考法、表現方法」を身に付ける

● 8月17日～8月25日 アメリカ

竹早、小石川、三鷹、八王子東、武蔵野北、小金井北
（計24人）

【4 グローバル「スペシャリスト」コース】

専門教科に関連した取組や技術を見聞し、よりよい社会づくりに貢献する意識を醸成

● 9月29日～10月5日 フィンランド

葛飾総合、六郷工科、芝商業、町田総合、青梅総合、多摩工科
（計23人）

● 10月20日～10月26日：UAE

足立工科、新宿山吹、第三商業、墨田工科、園芸、瑞穂農芸
（計24人）

● 2月3日～2月9日：イギリス

葛飾商業、工芸、杉並総合、総合工科、練馬工科、青梅総合
（計24人）

【5 グローバル「ライフ」コース】

将来、文化やスポーツに関する事業に携わる人材を育成

● 1月12日～1月18日 フランス

南葛飾、青山、つばさ総合、文京、東大和、東村山
（計24人）

トルコ



エジプト



UAE



フィンランド



アメリカ



フランス

< 海外派遣研修を通じた学びとその成果 >

1 主な訪問先・交流内容

主な訪問先	主な交流内容
高校	○同世代との交流・授業体験・文化交流 ○世界的課題についてのテーマ発表・議論
大学・研究施設	○トップレベルの大学の研究に係る講義・体験 ○大学教授・大学生との交流・テーマ発表、意見交換
現地の日本大使館	○都の代表としての表敬訪問 ○大使・外交官からの講話・意見交換
日系企業	○世界における日本企業の取組体験 ○世界を舞台に活躍する日本人との交流
現地企業	○世界を舞台に展開する企業を訪問 ○講話・研究テーマ発表・意見交換
文化施設・世界遺産	○多文化・異文化を直に体験・見聞

＜ 海外派遣研修を通じた学びとその成果 ＞

2 研究内容例（事前学習・現地での発表・成果報告）

プログラム	発表タイトル
ダイバーシティコース	マレーシアから学ぶ多文化共生社会の実現～教育的観点から～（教育） トルコと日本の食文化～持続可能な食文化の継承と発信～（食文化）
スペシャリストコース	自動車から見る、ロンドンの環境保護と技術の活用（環境と科学） UAEの再生可能エネルギーと日本の関連（エネルギー）
オリパラシティコース	私たちの未来を考える～美術館のアクセシビリティ～（アクセシビリティ）
イノベーションコース	交通渋滞の緩和を通して～ゼロエミッションを目指す～（公共インフラ）

3 成果報告までの研究の流れ

① 事前学習

「理解の深化」と「広い視野の獲得」



データ分析による現状把握

意見交換したい内容

- ・日々の食卓にはトルコ料理以外のものが揃っているのか。
- ・トルコの家庭料理はどんなものがあるのか。
- ・トルコには一日三度の概念があるのか。
- ・トルコの食料自給率はなぜ100%が可能なのですか？
- ・トルコは食料自給率が100%以上で輸出大国だが、輸入で洋服を穿くことがあるのか。
- ・献立文化はあるのか。
- ・トルココーヒーは有名なが、実際にはコーヒーを毎日飲むのか。
- ・また子供のごちそうであるのか。
- ・トルコはイタリアやフランス、中華、ベトナム料理など多くの種類の料理を食べられるのか。

仮説の設定

② 現地派遣・交流体験

「生きた英語体験」と「より深い洞察」



英語での発表や意見交換



③ 振り返り、成果報告

「新たな視点の獲得」



各学校での発表

4 参加した生徒の声

- ・「互いの宗教や習慣を尊重しながら暮らす多文化共生社会の在り方を学んだ」
- ・「英語でコミュニケーションをとることが好きになり、世界で活躍したいと強く思うようになった」
- ・「外国語を学ぶことへの積極的な姿勢に刺激を受けた」
- ・「この研修を通して、考えること、議論することを楽しいと感じ、大好きになった」
- ・「現地の方のお話を聞いて、一気に視野を世界にまで広げることができた」

5 引率教員の声

- ・「研修の話聞く中で、将来的に海外留学や国際交流に挑戦したいと考える生徒も増え、新たな挑戦への意欲が高まるなど、研修に参加していない生徒にも学びの広がりが生まれている」

東京体験スクール

- ・留学生が1週間来日し、都立の高校生と授業や部活動等を通して、交流を行った。
- ・課外活動として能体験や着物体験などの日本文化体験を行った。（全70名）

【夏季】（実施期間）7月6日（土）～7月13日（土）（ホテルステイ）

受入国	33名	受入校
ヨルダン	6名	福生・足立東
フィンランド	6名	小石川中等
インドネシア ①	6名	桜修館中等
インドネシア ②	6名	大泉
オーストラリア（QLD）	9名	石神井



全校歓迎会



各授業での体験・交流

【冬季】（実施期間）12月6日（金）～12月14日（土）（ホームステイ及びホテルステイ）

受入国	37名	受入方法	受入校
オーストラリア（NSW）	8名	ホームステイ	国立（4名） 王子総合（4名）
ニュージーランド	7名	ホームステイ	立川国際中等
カナダ	6名	ホームステイ	江北
タイ	6名	ホームステイ	三鷹中等（2名） 清瀬（4名）
フランス	4名	ホテルステイ	福生
トルコ	6名	ホテルステイ	上野



日本文化体験（茶道）



東京の魅力体験

< 令和7年度都立高校生の国際交流について >

令和7年度の取組(予定)

派遣

学校での学びを現地ならではの経験を通じ実践的に深められるよう、現地教育機関等と連携し、独自プログラムを企画

- 1 ダイバーシティコース（5か国）**
多文化共生社会の実現に向けた意識を醸成
- 2 グローバルイノベーションコース（2か国）**
世界水準の教育を直接体験し、興味や関心を一層向上
- 3 グローバルスペシャリストコース（3か国）**
専門に関連した取組等を見聞し、社会貢献への意識を醸成
- 4 SDGsコース（1か国）**
SDGsの取組先進国における先進事例の学習し、社会課題の発見や解決に取り組むための意識を醸成

派遣日程（予定）	コース名	派遣国	人数
8月18日（月）～8月25日（月）	イノベーション	アメリカ	28
8月23日（土）～8月29日（金）	スペシャリスト	ニュージーランド	31
9月7日（日）～9月13（土）	ダイバーシティ	インドネシア	28
9月27日（土）～10月3日（金）	スペシャリスト	UAE	24
10月7日（火）～10月13日（月）	SDGs	フィンランド	28
10月9日（木）～10月16日（木）	イノベーション	イギリス	28
10月17日（金）～10月24日（金）	ダイバーシティ	ヨルダン	28
11月1日（土）～11月8日（土）	ダイバーシティ	トルコ	28
11月9日（日）～11月15日（土）	スペシャリスト	カナダ	24
12月13日（土）～12月20日（土）	ダイバーシティ	エジプト	28
1月18日（日）～1月24日（土）	ダイバーシティ	マレーシア	28

R7派遣数303人（R6派遣数：267人）

受入

校内で生きた国際交流の機会を創出することで、都立高校生の国際感覚を醸成

「東京グローバルフレンドシッププログラム」の実施

- ・海外からの生徒は都内に1週間滞在、バディと共に学校生活体験
- ・都立高校で、「授業」や「特別活動・部活動」を通じた交流
- ・「教育に関する覚書」締結国・地域（10の国・地域）等から
合計90人を受入

実施期間	受入国（調整中）	受入人数
7月5日～12日	オーストラリア（QLD）、タイ、ニュージーランド、フィンランド、マレーシア、ヨルダン	48人
12月6日～13日	エジプト、オーストラリア（NSW）、カナダ、トルコ、フランス（パリ）	42人